

## 1 調査の目的と項目

### 1.1 背景と目的

---

## 1. 調査の目的と項目

### 1.1. 背景と目的

本調査は、アジア等の化学物質管理制度の現状について、調査法を検討するとともに、最新の情報を整理するものである。

その背景には、「独立行政法人製品評価技術基盤機構に対する第二期中期目標」及びアジアにおける化学物質管理制度の急速な進展がある。

まず、製品評価技術基盤機構（NITE<sup>1</sup>）の第二期中期目標については、化学物質管理センターの業務として、化学物質管理に関する情報の提供が定められ、その情報の一つが国外の規制に関する情報とされている。

次に、アジアにおける化学物質管理制度については、近年の工業化の進行とともに、急速に進みつつある。アジア諸国と我が国のサプライチェーンは密接であり、化学物質や化学物質を含有する製品等の輸出入はますます盛んになってきている。そのような状況の中で、アジア各国における化学物質制度の適正な導入、運用は、我が国の環境保護や安心な生活・健康の確保のために重要であるだけでなく、我が国の産業政策上も非常に重要である。実際、NITE では今年度に入り、アジア関係者の訪問、講演依頼、問い合わせ等が増加する傾向にある。しかし、NITE 化学物質管理センターでは、それらの状況が系統的に整理されておらず、情報の入手ルート等が確立されていない。

以上に鑑み、本調査では、アジア等の化学物質管理制度の現状についてその調査法を検討した上で、現状調査を行い、最新の情報を整理することとする。調査結果は、データベース「化学物質総合検索システム(CHRIP<sup>2</sup>)」の収載項目の検討など、化学物質管理センターの情報提供に活用するものである。

### 1.2. 項目

調査の項目は、以下の二つである。

- ・アジア諸国における化学物質管理制度の現状
- ・諸外国における PRTR 制度類似制度

---

<sup>1</sup> National Institute of Technology and Evaluation

<sup>2</sup> Chemical Risk Information Platform